



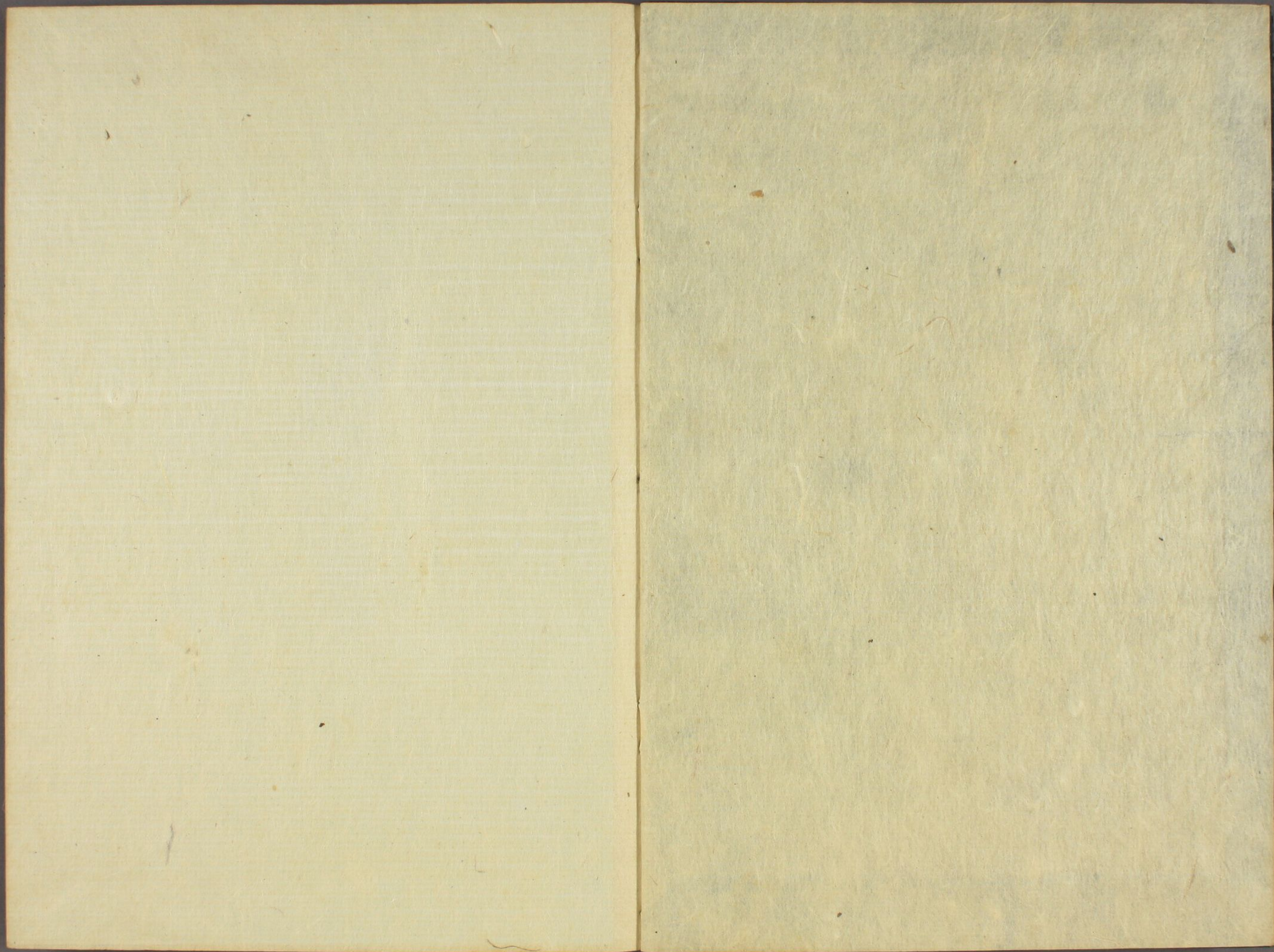
机在鈔

五



中村俊定文庫
文庫 18
1015
5







松石鈔弟文

与行上

淀 沃河渡

歳



將

在卷三

美藤院は清水の常よりより増る我恋

昔々

美豆社

在卷六

美豆社よりけしのあふ小帳をいりて淀のいば

は久

町名

在卷五

いばは町よりあふあふ淀のいりてあふあふあふ

志見

柴漬

在卷

うはうはのあふあふあふあふあふあふあふ

平島

島浦

在卷五

島浦のいばは町よりあふあふあふあふあふ

本島

母子

在卷四

母子のいばは町よりあふあふあふあふあふ

美原

美豆里妹

在卷三

美豆里妹のいばは町よりあふあふあふあふ

在卷

将交世

在卷二

将交世のいばは町よりあふあふあふあふ

在卷

拱

在卷一

拱のいばは町よりあふあふあふあふあふ

在卷

高	沼	駒	猪	卯花	入江柳里子	水産	多相	弁	沃菜	青柳
日	日	泰	類	泰	泰	日	泰	日	日	日
高月舟は流木水産のりて舟をさすはつて	沼のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	駒のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	猪のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	卯花のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	入江柳里子のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	水産のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	多相のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	弁のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	沃菜のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	青柳のりて舟をさすはつて舟をさすはつて
行司		参	参	参	参	参	参	参	参	参

早苗	渚	菴	林	警	菅原社	町南	持統費人	難	弁由車	板橋
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
早苗のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	渚のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	菴のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	林のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	警のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	菅原社のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	町南のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	持統費人のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	難のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	弁由車のりて舟をさすはつて舟をさすはつて	板橋のりて舟をさすはつて舟をさすはつて
参										

机右五

二

麻

勲皇

色もはらけり梅葉は流のけり月夜人

夜鳥春

鴨

日

風をよほの海氷氷流しなる南なる若鴨は驚

を麻葉成

村

日

名にそる若田の里其秋ははしくははる一居夜

鳥宮

杜藤

本

白くももつた此宮と煙の炊ね若田の村あり也

白徳鳥燕

飽津

日

行末は高村の藤のれ流ぬまの光と光り

聖宮

安見

日

河原の吉田村の松およりけりは松樹のりお

追尋

狩

日

小野笑野上者跡見居置而御山者射因

立馬

馬

日

立渡朝獵爾十六獲起之夕狩爾十里弱

立馬

煙

日

立馬並而御舊曾立為春之茂野爾

立馬

御金

日

子もつと若野川の春ふけおじ河のりお

馬

川

日

馬をへとを若野川よりおれをてを境のい

煙

梅

日

梅の香は河の庵の上は梅は花をけはらま

川

妹背山

日

多しはふむせむの津にふるあつ山にけりや昔

日

又後道

日

世にあらうとてゆめはあかしの道にやあらん

日

松

日

とらふはあつたにふらふらにけりあつた

日

来春教

日

又後道に松の葉をまきまきしはるる

日

谷埋木

日

昔人の言はれし松の根をとりてあつた

日

所埋原

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

あつ松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

柳大園

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松折

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

松

日

あつたに松の葉をまきまきしはるる

日

層

修養云々

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

中支

林垣

修養云々

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

紫唐

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

梅

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

栂

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

高城

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

黒田

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

卯心

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

お糸

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

十津川

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

紫唐

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

紫杭

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

垣電

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

條屋

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

花八重

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

文軒

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

竜田

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

花園

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

萩

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

菅

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

三島川

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

山伏

日種

花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

修養云々

馬酔木 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

蜻蛉小野 日 今もあつらふ小野に書かた花散れぬ日

須代 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

菊 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

十津國楊 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

谷鳥言 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

岩屋 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

子日松 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

若菜 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

馬柳 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

花袋 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

雛子 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

御嶽山 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

玄雀 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

葛城 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

旗 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

細谷川 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

毛根野 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

精根 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

萩 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

岩屋 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

麻 日 古野川流は花散れぬまじりせと花は咲かす日

竹 日 若く根に并葉の多しは葉茂く月より

象小川 日 葉の多し根の葉は月より多し

葉葉心 日 葉の多し根の葉は月より多し

葉 日 葉の多し根の葉は月より多し

山葉 日 葉の多し根の葉は月より多し

晴鈴川 日 葉の多し根の葉は月より多し

泉原 日 葉の多し根の葉は月より多し

金嶺 日 葉の多し根の葉は月より多し

和 日 葉の多し根の葉は月より多し

葉の多し根の葉は月より多し

和泉

雲井橋 新葉

葉の多し根の葉は月より多し

葉の多し根の葉は月より多し

葉の多し根の葉は月より多し

葉の多し根の葉は月より多し

特島 日 葉の多し根の葉は月より多し

葉の多し根の葉は月より多し

葉の多し根の葉は月より多し

葉の多し根の葉は月より多し

葉の多し根の葉は月より多し

以陵 日 葉の多し根の葉は月より多し

葉の多し根の葉は月より多し

和泉

後醍醐天皇の御成敗の御成敗

日
とてはかりしをいふはなほ世にあらざらん

はるかの風をうけてさきかたの御成敗

いへりてはなほの御成敗の御成敗

あつてはなほの御成敗の御成敗

あつてはなほの御成敗の御成敗

あつてはなほの御成敗の御成敗

あつてはなほの御成敗の御成敗

あつてはなほの御成敗の御成敗

あつてはなほの御成敗の御成敗

あつてはなほの御成敗の御成敗

日
さうしてはなほの御成敗の御成敗

あつて

日
とてはかりしをいふはなほの御成敗

あつてはなほの御成敗の御成敗

あつてはなほの御成敗の御成敗

あつてはなほの御成敗の御成敗

日
とてはかりしをいふはなほの御成敗

淀橋

橋

志野浦
後醍醐天皇の御成敗の御成敗

船月
新皇の御成敗の御成敗

柳
あつてはなほの御成敗の御成敗

有る
あつてはなほの御成敗の御成敗

横河

五言

少将高亮横河よりわたりてわらわら
わりよろろとささげひくはうり

新和歌

わらわらささげひくはうり
横河の水もほろろん 天麩

志りせのりしく大原のいさむら
ほけらわりろろは徳政所幸乃所経
徳政の味のりろろろろろろ
おふわりろろろり可る一わりさし

新和歌

横河の本は徳よきらて
わらわらささげひくはうり
高亮横河よりわたりて

横

白三

うみわりけり

高亮横河の水もほろろん
お大信ふ良亮横河よりわらわら

天長れりろろろろろろろろ
ろろろ

新和歌

高亮横河の水もほろろん
お大信ふ良亮横河よりわらわら

新和歌

高亮横河の水もほろろん
お大信ふ良亮横河よりわらわら

新和歌

高亮横河の水もほろろん
お大信ふ良亮横河よりわらわら

高亮横河の水もほろろん
お大信ふ良亮横河よりわらわら

わりのるは春一ゆりたる

月

柳右五
柳のわらふ雲の月影は横河原にさゆりたる
直家又

鐘

柳右五
河津の横河原の鐘はわらふ雲の月影にさゆりたる
柳右五

洞

柳右五
洞のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
柳右五

花

柳右五
花のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
柳右五

余古浦 柳右五

吹田

余古浦
吹田のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
源義経

多

余古浦
多のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
道長

天し女

余古浦
天し女のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
好志

合歩人

余古浦
合歩人のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
好志

松

余古浦
松のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
柳右五

与謝 柳右五

吹居

吹居
吹居のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
好志

天橋

天橋
天橋のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
赤澤

浦松

浦松
浦松のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
後藤

小橋

小橋
小橋のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
赤澤

入海

入海
入海のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
赤澤

湊

湊
湊のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
後藤

浦

浦
浦のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
赤澤

大

大
大のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
赤澤

橋

橋
橋のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
待望

居

居
居のわらふ雲の月影は横河原の松林にさゆりたる
後藤

蓬原	日	よき此海に其浦より入海をせむに其海に	駿河院
伊予	日	若和州より其海より入海をせむに其海に	伊予
和州	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	和州
名入海	日	音らうよき此海のよき此海より入海をせむに其海に	名入海
淡路	日	けり此海のよき此海より入海をせむに其海に	淡路
多	日	ひき此海のよき此海より入海をせむに其海に	多
内海	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	内海
島白洲	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	島白洲
和州	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	和州
和州	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	和州
淡路	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	淡路

磯	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	磯
芥河	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	芥河
水鷲	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	水鷲
淡車	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	淡車
駒山吹	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	駒山吹
井	日	よき此海のよき此海より入海をせむに其海に	井

三善原

木

松原の河を流るる泉のほとりなる松原の川

柳

日

玉川に松原橋ありて流るる花の流るる處

柳

日

松原の川に松原の河を流るる柳の枝ありて

玉川

松原

卯花

松原

松原の河を流るる卯花の川

松原

松原

松原の河を流るる松原の川

霞

卯花

松原の河を流るる霞の川

垣

松原

松原の河を流るる垣の川

可多

松原

松原の河を流るる可多の川

心吹

松原

松原の河を流るる心吹の川

玉川

松原

調布

松原

玉川より入調布より出たる人乃無り

垣

松原

調布より入垣より出たる人乃無り

橋

松原

玉川より入橋より出たる人乃無り

玉川

松原

萩

松原

玉川より入萩より出たる人乃無り

鶉

松原

玉川より入鶉より出たる人乃無り

里

松原

玉川より入里より出たる人乃無り

玉川

松原

流

松原

玉川より入流より出たる人乃無り

月

松原

玉川より入月より出たる人乃無り

大月白

高野

玉川

高野

神社

杜

宮

子

子

子

河

行以ぬ夕砂のさきかしの押田の玉川流漱く

里入や押田の里菜とくくん河を濁る玉川は

江

口はくは海をたぐん流るは押田の玉川の

蔵

物とくはの枝のゆきをたけつらうをたけ

君と初めをたけ人けりきとく受の赤れ玉垣

河をたぐは地をたけりきとくはのさきかしの

人の初めをたけは枝のゆきをたけりきとく

物とくはの枝のゆきをたけりきとく受の赤れ玉垣

子とくはの枝のゆきをたけりきとく受の赤れ玉垣

鴨松夏

為家

陸原

半三又

善宗

俊成

句

善宗

為相

川

愛宕

流

教

坂

多

日

日

高野

萱野

新

系

系

日

新

川はけはの河をたぐは地をたけりきとく

山後とくはの河をたぐは地をたけりきとく

日

山後とくはの河をたぐは地をたけりきとく

清流の流るは枝のゆきをたけりきとく

多和の流るは地をたけりきとく受の赤れ玉垣

多和の流るは地をたけりきとく受の赤れ玉垣

老の流るは地をたけりきとく受の赤れ玉垣

多和の流るは地をたけりきとく受の赤れ玉垣

陸原

陸原

善宗

善宗

善宗

善宗

善宗

善宗

亀田

山

七和

花雪

五三下

花雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

柳

日下

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

雪

日下

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

日

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

日

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

日

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

柳

日下

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

柳

日下

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

人

日

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

報

日

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

柳

日下

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

柳

日

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

柳

日下

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

柳

日下

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

柳

日

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

柳

日下

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

柳

日

雪のふりしるる雪のふりしるる雪のふりしるる

河内国及丹波国... 柳花抄

高き

三

三田の木のまきき

河天

町

修

三田の木のまきき

長後

大行

三

三田の木のまきき

長後

郎

三

三田の木のまきき

長後

五味子

三

三田の木のまきき

長後

将

三

三田の木のまきき

長後

飛

三

三田の木のまきき

長後

蘭

三

三田の木のまきき

長後

野

三

三田の木のまきき

長後

杜

三

三田の木のまきき

長後

柳

三

三田の木のまきき

長後

御

三

三田の木のまきき

長後

射

三

三田の木のまきき

長後

野

三

三田の木のまきき

長後

松

三

三田の木のまきき

長後

宮

三

三田の木のまきき

長後

滝

三

三田の木のまきき

長後

園

三

三田の木のまきき

長後

藤

三

三田の木のまきき

長後

和

三

三田の木のまきき

長後

度

三

三田の木のまきき

長後

約

三

三田の木のまきき

長後

春日

後醍醐天皇

春日の御幸の御時

貞柄

法華

日新中

法華の御幸の御時

三鷹所

尾花

新徳松

尾花の御幸の御時

日

野々香

日新

野々香の御幸の御時

宮下

松

後醍醐天皇

松の御幸の御時

光明寺

至布留

新徳松

至布留の御幸の御時

南無

高

新徳松

高の御幸の御時

御所

松

日新

松の御幸の御時

後醍醐天皇

薄

日新

薄の御幸の御時

忠告

卯花

日新

卯花の御幸の御時

宮下

四馬

日新

四馬の御幸の御時

行旅

尾

日新

尾の御幸の御時

三鷹所

菅野

日新

菅野の御幸の御時

文徳寺

尾

日新

尾の御幸の御時

三鷹所

尾

日新

尾の御幸の御時

三鷹所

尾

日新

尾の御幸の御時

三鷹所

文徳

日新

文徳の御幸の御時

三鷹所

尾

日新

尾の御幸の御時

三鷹所

尾

日新

尾の御幸の御時

三鷹所

尾

日新

尾の御幸の御時

三鷹所

尾

日新

尾の御幸の御時

三鷹所

尾

尾

高天山社

日

榎

修後送坂下

首城やう美たは月氣乱てみく枝の下露 委任

紫

柳屋坂下

日向のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 深衣

可

修後送坂下

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 定衣

雷

五二

来りてうすくは雲の宿は紫の宿の本枝 盛

扇

奉

うすくは雲の宿は紫の宿の本枝 扇

可

日

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 扇

雲

日

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 係

雲

日

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 行

杜

日

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 行

多

日

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 行

山

日

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 信

十

新世

鳴鐘のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 信

さ

夜

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 人

夜

大

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 日

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 定

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 定

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 委

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 委

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 行

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 行

我が心のやうな色に多し月と美たの宿は紫の 委

机右五

十

安海

日

辰松山に田あり又海越く岸あり

山あり 日

糸

糸

糸在後山あり

昔

林

日

糸山に林あり

糸

橋

後山

橋あり

橋

郭

日

一郭あり

郭

佐藤

末

佐藤家の山あり

佐藤

高塚

日

高塚あり

高塚

高塚 沖 和泉

濱

後山

濱あり

濱

松

日

わが波は松の尾あり

松

島

沖

沖は島の波あり

島

高砂

内

高砂の沖あり

高砂

浦

山

沖は浦の山あり

浦

花

山

花の山あり

花

山 橋

山あり

大付

山

大付の山あり

大付

松

山

松の山あり

松

山 日

芦

山

芦の山あり

芦

机右五

十九

葛蒲

全葉

玉江の葛蒲は、其の葉は、

玉江

駒

全葉

水に漬けて、其の汁を、

清燗

雲

前葉

白く、其の葉は、

雲

蔣

日葉

玉江の蔣は、其の葉は、

蔣

布

全葉

玉江の布は、其の葉は、

布

蔣

全葉

玉江の蔣は、其の葉は、

蔣

蔣

全葉

玉江の蔣は、其の葉は、

蔣

蔣

全葉

玉江の蔣は、其の葉は、

蔣

蔣

全葉

玉江の蔣は、其の葉は、

蔣

蔣

全葉

玉江の蔣は、其の葉は、

蔣

鴨

鴨は、其の葉は、

鴨

高津

接岸

大和

全葉

大和の葉は、其の葉は、

大和

月

全葉

月の葉は、其の葉は、

月

梅

全葉

梅の葉は、其の葉は、

梅

松

全葉

松の葉は、其の葉は、

松

松

全葉

松の葉は、其の葉は、

松

松

全葉

松の葉は、其の葉は、

松

松

全葉

松の葉は、其の葉は、

松

松

全葉

松の葉は、其の葉は、

松

松

全葉

松の葉は、其の葉は、

松

松

松

初音 日 丹心は雅政の如くはるかに清のなる也 梅屋三郎
氷室 元元 かにて風をたふしそなはれは清の氷室を 源氏光

田妻湯 日

雅清 日 雅清は清の如くはるかに清のなる也 長久

宿 日 宿は清の如くはるかに清のなる也 小政

中核 日 中核は清の如くはるかに清のなる也 清政

田妻湯の事

菊 日 菊は清の如くはるかに清のなる也 長久

鷹 日 鷹は清の如くはるかに清のなる也 富子

高師心 日

麻 日 麻は清の如くはるかに清のなる也 長久

松原 日 松原は清の如くはるかに清のなる也 長久

淡路 日 淡路は清の如くはるかに清のなる也 政村

志砂 日 志砂は清の如くはるかに清のなる也 長久

子 日 子は清の如くはるかに清のなる也 長久

蛸 日 蛸は清の如くはるかに清のなる也 仲実

花 日 花は清の如くはるかに清のなる也 雅有

湊 日 湊は清の如くはるかに清のなる也 西行

川 日 川は清の如くはるかに清のなる也 長久

藤 日 藤は清の如くはるかに清のなる也 長久

駒 日 駒は清の如くはるかに清のなる也 長久

鶴 日 鶴は清の如くはるかに清のなる也 長久

島子 日 島子松の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

田坑浦 駿河

藤原松 松原 田子松の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

島子 田子松の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

島子松の意はさうに松樹とては成るに似たり

日向松 日向松の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

松 松の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

岸 岸の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

鶴 鶴の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

島子 島子の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

島子 島子の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

日向松 日向松の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

松原 松原の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

多松浦 越中

藤 藤の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

松 松の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

早苗 早苗の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

浦坂 浦坂の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

松原 松原の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

越山町 越山の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

湊月 湊月の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

島子 島子の意はさうに松樹とては成るに似たり 中務卿

莫以日 子苗なるは浦へ夏吹く常水入りて

竹下 桐根

是柄宿 後送林 之柄は之葉は竹より一葉宿り竹は木を

花 飛下 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

国 飛下 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

麻 本 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

立野 武元

駒 後送林 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

若櫃 新初下 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

心為 後送林 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

萩 本 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

梅 日 梅は之葉の終るくは竹より竹の下を

葛 心 梅は之葉の終るくは竹より竹の下を

高馬 高馬

是利海 原 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

水尾松 葉文 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

栗 本 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

陸野 新初下 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

松麻 新初下 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

楨檜 新初下 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

是利海 本 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

水 本 之柄は之葉の終るくは竹より竹の下を

浦原

日

かたがけのくしむらもあつる浦原 為氏

河原

日

かたがけの河原はたけ下をさるしめ 順徳院

極

日

かたがけの極はたけのたけはたけのたけ 長隆

萩原

日

かたがけの萩原はたけのたけはたけのたけ 為家

松山

日

かたがけの松山はたけのたけはたけのたけ 法皇御下

藤

日

かたがけの藤はたけのたけはたけのたけ 藤原

を

日

かたがけのをはたけのたけはたけのたけ 長久

河原

日

かたがけの河原はたけのたけはたけのたけ 同

かたがけ

日

川原

陰藤

かたがけの川原はたけのたけはたけのたけ 清原

水原

かたがけの水原はたけのたけはたけのたけ

長

陰藤

かたがけの長はたけのたけはたけのたけ 後藤

花

陰藤

かたがけの花はたけのたけはたけのたけ 後藤

長

陰藤

かたがけの長はたけのたけはたけのたけ 同

藤

陰藤

かたがけの藤はたけのたけはたけのたけ 長隆

河

陰藤

かたがけの河はたけのたけはたけのたけ 長隆

長

陰藤

かたがけの長はたけのたけはたけのたけ 長隆

細代松

あけ

細代木に錦より吹く甲をそねたふたをそねたふた

昨時

名海

新天

氷島なるにうき橋の内海に甲を引く細代らん

春天下

卯七

奉

卯七の葉を引く甲を引く甲を引く甲を引く

陰祐

夏後

日

夏後を引く甲を引く甲を引く甲を引く

文内飛

野田白深

日

野田白深を引く甲を引く甲を引く甲を引く

好急

橋谷

日

橋谷を引く甲を引く甲を引く甲を引く

信重

はすの八分を引く甲を引く甲を引く甲を引く

おしほひのうきに引く甲を引く甲を引く甲を引く

乃松を引く甲を引く甲を引く甲を引く

時雨

日

甲を引く甲を引く甲を引く甲を引く

信重

松

日

松を引く甲を引く甲を引く甲を引く

信重

定信

日

推定を引く甲を引く甲を引く甲を引く

信重

推

推を引く甲を引く甲を引く甲を引く

ひさの各を引く甲を引く甲を引く甲を引く

船

日

船を引く甲を引く甲を引く甲を引く

しんを引く甲を引く甲を引く甲を引く

あを引く甲を引く甲を引く甲を引く

あを引く甲を引く甲を引く甲を引く

松

日

松を引く甲を引く甲を引く甲を引く

信重

さらけとあつたりけり

あつたりけり
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より

町

日

日

日

日

日

日

日

日

日

武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より
武隈松の梢より

町

町

町

町

町

町

町

町

町

町

町

町

町

町

くろく

くろく

高砂

尾之嶺

瑞雲

萩

松

萩

萩

萩

萩

萩

萩

秋萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花

萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花

萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花

萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花

萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花

萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花

萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花

萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花
萩花

萩花

萩花

萩花

萩花

萩花

萩花

萩花

萩花

大崎	日	於大崎岩からとる砂每斤に重し四匁	陸源
蘇里	日	砂此蘇里の河から尾を掘りてとる	石坪
川	日	砂此尾の河よりとる砂	尾尾
花	日	砂此松浦内より尾の花の河よりとる	尾尾
藤原	日	砂此尾の河よりとる砂	尾尾
尾	日	砂此尾の河よりとる砂	尾尾
菅	日	砂此尾の河よりとる砂	尾尾
河	日	砂此尾の河よりとる砂	尾尾
掛	日	砂此尾の河よりとる砂	尾尾
尾	日	砂此尾の河よりとる砂	尾尾

玉治	日	砂此玉治の河よりとる砂	尾尾
雷	日	砂此雷の河よりとる砂	尾尾
京	日	砂此京の河よりとる砂	尾尾
船	日	砂此船の河よりとる砂	尾尾
石	日	砂此石の河よりとる砂	尾尾
尾	日	砂此尾の河よりとる砂	尾尾
新	日	砂此新の河よりとる砂	尾尾
舟	日	砂此舟の河よりとる砂	尾尾

玉津嶋

尾尾

尾尾

尾尾

月書 奉 玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり 後松原

松竹書 日 玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり 日 松原

松竹書 日 玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり 日 松原

松竹書 日 玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり 日 松原

松竹書 日 玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり 日 松原

高野 日

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

草書

草書

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

新撰

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

後松原

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

玉清宮 松原友にふまふ月日尚あり

日 皇 ともはたけのいづかきも引はれぬかたの御事

宣陽院くればおのゝ御事

孝りたる御事

りりたる御事

日 源のちかき御事 源仲業

今通二不教と高野の御事

しんはらけの御事

日 後醍醐 かつらの御事 宋尊教

わ

日 志らる御事 二不教

大宮院の御事

忠正

新保親下

おさめたる御事

忠正 貞正

忠正の御事

正和二年は

代はたした御事

さりたる御事

日 修承 忠正 徳通順

行幸

忠正の御事

日 藤 忠正

後一位貞子

とらたたる御事

九十五

玉川

日暮 行きの途に松の影を思ひては別れ果て思ひ 松葉
口をくちぬやまのしほに松の影を思ひては玉川水 流るる

高野にのりゆく松の影を思ひて

松

日 是れい唐船のりゆく松の影を思ひては松の影を思ひて 河へ入

鐘

初載 鐘の音のよきとけしき思ひては松の影を思ひて 宗室の

園遊散鈴

茎 是れい松の影を思ひては松の影を思ひては松の影を思ひて 慈徳

高野にのりゆく松の影を思ひて

花のちりけを思ひて

花

案 ちりけを思ひては松の影を思ひては松の影を思ひて 雲

高野にのりゆく松の影を思ひて

菖蒲花

ゆりゆくに松の影を思ひて

とくさる

揚

日 揚ちる松の影を思ひては松の影を思ひては松の影を思ひて 日

高野にのりゆく松の影を思ひて

高野にのりゆく松の影を思ひて

案

日 案の松の影を思ひては松の影を思ひては松の影を思ひて 日

とくさる

高野にのりゆく松の影を思ひて

高野にのりゆく松の影を思ひて

高野にのりゆく松の影を思ひて

高野にのりゆく松の影を思ひて

高野にのりゆく松の影を思ひて

楊

日

楊柳の葉はよくて楊柳に似てはるる月日の新に

ふと葉をいへば舞念大原に似たりきり

と好むらうと好むらうと好むらう

芥

日

芥子の葉はよくて芥子に似てはるる月日の新に

ふと葉をいへば舞念大原に似たりきり

と好むらうと好むらうと好むらう

楨

日

楨木の葉はよくて楨木に似てはるる月日の新に

ふと葉をいへば舞念大原に似たりきり

栢

日

栢木の葉はよくて栢木に似てはるる月日の新に

ふと葉をいへば舞念大原に似たりきり

桑

日

桑木の葉はよくて桑木に似てはるる月日の新に

楊切

日

楊切の葉はよくて楊切に似てはるる月日の新に

ふと葉をいへば舞念大原に似たりきり

と好むらうと好むらうと好むらう

阿多

日

阿多木の葉はよくて阿多木に似てはるる月日の新に

ふと葉をいへば舞念大原に似たりきり

花柳

日

花柳の葉はよくて花柳に似てはるる月日の新に

ふと葉をいへば舞念大原に似たりきり

若洞

日

若洞の葉はよくて若洞に似てはるる月日の新に

ふと葉をいへば舞念大原に似たりきり

と好むらうと好むらうと好むらう

わくわくとえたりたりにうみ菴をむすむ

光後朝居うも糸とてうき多る谷れき

いんまのうたにまをてけりてけりて
うたにまをてけりてけりて

新

玉鳴 何日 配

玉鳴歌
官

橋

陸奥上

橋のまがらう橋り人けけれ玉鳴川其の境

定歌

新柳

飛騨上

玉鳴川より新柳下をよりうたぬ柳の吹

家歌

松浦

陸奥上

松浦の夕に玉鳴川をよりうたぬ松浦

家歌

花

陸奥上

玉鳴川より花をよりうたぬ花

忠定

新

陸奥上

新柳のまがらう玉鳴川をよりうたぬ新柳

家歌

新柳 日
魚梁 日
し女 日
松浦 日
玉鳴浦 日
赤七瀬 花

玉鳴川より新柳のまがらう玉鳴川をよりうたぬ新柳
魚梁のまがらう玉鳴川をよりうたぬ魚梁
し女のまがらう玉鳴川をよりうたぬし女
松浦のまがらう玉鳴川をよりうたぬ松浦
玉鳴浦のまがらう玉鳴川をよりうたぬ玉鳴浦
赤七瀬のまがらう玉鳴川をよりうたぬ赤七瀬

忠定

家歌

忠定

家歌

忠定

家歌

